

# ごみ・し尿処理・消防・救急・斎場等の議会報告

## ◎比企広域市町村圏組合議会 (消防・救急業務、斎場の管理運営、介護・障害審査会)

平成26年第1回定例会が、2月17日東松山市議場で開催されました。

議案は20件。うち歳入歳出予算(下記表)は、全て原案のとおり可決されました。なお、当町に關係する主な事業としては、消防会計の中で小川消防団の消防救急無線デジタル化事業2689万2000円が計上されました。補正予算については、一般会計・消防会計・介護認定及び障害程度区分審査会計合計で104万円の増額で、可決されました。

平成26年度予算

会計名	金額
一般会計	7700万円
消防会計	36億8200万円
斎場及び霊柩自動車事業会計	1億100万円
介護認定及び障害支援区分審査会計	8000万円
公平委員会会計	80万円



屈折はしご付消防ポンプ自動車 25m伸びます

## ◎小川地区衛生組合議会 (ごみ処理、し尿処理)

去る2月21日、小川地区衛生組合定例議会が行なわれ、平成26年度一般会計予算を含む6議案が審議され、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計予算の歳入歳出合計は、それぞれ12億7700万円となり、歳入の主なものは各町村からのし尿・じん荼処理費負担金10億6800万円と、し尿収集・じん荼処理手数料1億3700万円です。歳出は、し尿処理費2億370万円、し尿収集委託料4000万円、し尿処理施設建設基金5000万円、不燃物処理委託料等や定期修繕工事等を含むじん荼処理費8億1800万円とごみ処理施設整備基金積立金6000万円が主な内容でした。

一般質問の中で、新施設移行までのおよそ7年間に掛かる修繕・整備に約30億円必要とのことであり、財政的に厳しい状況が続くことが分かりました。



小川地区衛生組合ごみ焼却場

## おわびと訂正

議会だより第70号(12月議会)の4ページ、平成25年度一般会計補正予算の主な質疑で誤りがありました。

日赤改築の意義と重要性の問(町が建設費の一部を負担)に対する答で、「④災害拠点病院指定を受けている」の表現は誤りで、改築(1期・2期工事を行ない)により、耐震等の所定の条件を整えて指定を受ける予定です。おわびして訂正いたします。



## 町民の声を町政に

### 一般質問席



## 町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、9人の議員が一般質問を行ないました。

## スポーツ振興

### 地域に根差したスポーツ振興のあり方は

#### 適宜、検討します



高瀬 勉 議員

スポーツをもっと身近に

## 質問

スポーツ振興に関する計画の策定は、

## 答弁

生涯学習課長は、現在当町では、生涯学習推進計画

の見直しの準備を進めています。今後は、その中で必要性も含めて検討します。

## 質問

二にスに合った施設・設備等の環境は十分に提供されているのか。

## 答弁

生涯学習課長は、総合体育館及び総合運動場の野球場が未整備であり、十分でないことは認識しています。

## 質問

新たなスポーツコミッションの考えは、生涯学習課長の考えは、

## 答弁

スポーツ観光の振興には、スポーツ施設や宿泊施設の整備といったハード面と、地域の情報発信・町を挙げての受け入れ態勢等のソフト面の充実が必要と、当町の現状を鑑みると、新たなスポーツイベントの誘致は難しいと考えています。

## 質問

総合型地域スポーツクラブの設立に向けた取り組みは、生涯学習課長の

## 答弁

埼玉県体育協会から説明を受け、研修を含めて周知を図った経過もありますが、当町では設立に至っていません。近年、比企郡内でもクラブが設立されたり準備中の町もあり、調査・研究し、今後の取り組みに生かしたいと思えます。

## その他の質問

◎記録的な大雪の経験から



第30回入部少伝大会